2027年度
大学入試
合格速報

東洋大学附属牛久中学校・高等学校

Toyo Channel

広報情報paper

2026年度
vol.12.1

難関大学への合格の知らせが続々と届いています。ここでは合格を勝ち取った生徒の声をご紹介致します。

《合格した大学・学部・学科（コース）》

茨城大学教育学部学校教育教員養成課程
教科教育コース技術教育系技術選修

総合型選抜



保坂　慶太（ほさか　けいた）
特別進学コース　理系
龍ケ崎市立中根台中学校出身

志望動機

担任の先生やこれまで出会った先生たちを見てきて教員を志望するようになりました。そして教員になることができる大学として茨城大学を志望するようになりました。また、技術選修を志望した理由はこれまで技術系の体験が身近に多くあったためでした。

受験勉強を始めた時期

高校2年12月ごろ

入試への準備方法

まず始めに志望する大学の入試情報をしっかりと把握しました。総合型選抜で自分の志望する学部が募集を出しているのか、学校推薦の条件はどんなものなのかなど、先生以上に自分の志望大学の入試情報を把握しようとしました。また早い段階から動き出すことが大切だと感じました。高校3年生になると一般選抜に向けた勉強で忙しくなり、面接や志望理由書の対策など時間を取る事が大変になったり、不安になることが沢山ありました。そのため余裕を持った準備が大切だと感じました。

喜びのコメント

今回受かればラッキー程度の認識でいたのですが、実際には、やはり緊張し、手が震えてしまったりと不安でした。そのため、合格発表で自分の受験番号が載ってるのをみて喜びが溢れ出してくるのを感じました。これまでの努力が報われたような、受かった事が嬉しいようなとにかくたくさんの感情が溢れ出しました。

後輩に伝えたいこと・アドバイス

国公立大学の総合型選抜の合格率は4割程度だそうです。自分の場合の合格率は3割でした。つまり何がいいたいのかというと、合格したらラッキー程度に考えるべきだということです。結局最後に信じるのは自分の学力です。推薦で合格することを前提に考えるのではなく常に最悪のパターンを考えて受験計画を立てる事が自分は大切だと感じました。一般選抜の勉強に加えて、志望理由書、面接の対策など不安に感じることが沢山あると思いますが、最後まで諦めず、努力してほしいです。

《合格した大学・学部・学科（コース）》

秋田大学国際資源学部国際資源学科
資源開発環境コース

総合型選抜



根本　義丸（ねもと　よしまる）
中高一貫コース 理系
東洋大学附属牛久中学校出身

志望動機

海外の資源開発現場で働くことを目標に、掘削工学の専門知識と英語力を身につけるためです。英語による専門教育や海外資源フィールドワークが充実しており、国際的に活躍するための力を養える秋田大学国際資源学部を志望しました。

受験勉強を始めた時期

高校3年8月ごろ

入試への準備方法

準備を開始した時期は高校3年の８月ごろでした。そこで自己アピール書と予想される質問に答えるための面接の台本を15問作成しました。自己アピール書は夏休み期間だったので先生とオンラインでやり取りをして作成しました。面接では台本を作成したことで一度自分の考えを整理することができました。夏休みが明けると先生と練習をしました。そこで詰めが甘い部分などがあったので次の練習までには完璧にして、その周辺の知識なども頭に入れました。

喜びのコメント

一般受験には自信があったのですが、年内に進路が決まってほしかったので良かったです。受験番号を見つけたときは喜びより安心が大きかったです。教室で祝福してくれたみんなありがとう。

後輩に伝えたいこと・アドバイス

面接練習の回数は多ければ多いほど良いと思います。私は４回ほど行いましたが、少し不安が残っていました。合計６回以上はやりましょう。また、一度台本を作ってすべて覚えると、自分の考えが整理されてスラスラと言葉が出てきて深堀りされても詰まることがなかったです。